

2006年11月20日

報道関係各位

ミスミグループ本社 2006年9月期 中間連結業績を発表

- 売上高・営業利益・純利益ともに中間期の過去最高を更新 -

株式会社ミスミグループ本社（本社：東京都江東区、社長：三枝匡）は本日、2006年9月期（2006年4月1日～2006年9月30日）の中間連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

	<u>2005年9月期</u>	<u>2006年9月期</u>	<u>増減率</u>
	百万円	百万円	%
売上高	49,291	58,136	+17.9
営業利益	6,266	8,047	+28.4
中間純利益	3,642	4,838	+32.8
1株当たり中間純利益	42.01円*	55.72円	+32.6

2006年9月期の中間連結業績ハイライトは以下の通りです。

1. 売上高は5期連続、営業利益・純利益は4期連続で過去最高を更新

- 2006年9月期は、売上高が前期比17.9%増の581億円、営業利益は前期比28.4%増の80億円、純利益は前期比32.8%増の48億円となり、売上高は5期連続過去最高を更新すると共に、営業利益、純利益も4期連続過去最高を更新し、持続的な高成長・高収益を実現しています。
- この好業績は、自動車などの関連顧客が引き続き軟調な設備投資状況にあるものの、継続的な新商品の拡充、プライスダウンの実施、新規カタログの発行、インターネット販売用ウェブサイトの充実化などの戦略的要因および海外売上の伸長等により、当社主力事業である機械工業系各事業において好調に推移したことが主な要因となっています。

2. 全事業で売上高が伸長 - 自動化とエレクトロニクス事業が高成長を牽引

- 2006年9月期の事業部門別売上高は全事業部門において伸長しました。その中でも自動化学業とエレクトロニクス事業が特に高い伸び率を達成し、継続して成長を牽引しています。
- 自動化学業の売上高は前期比30.5%増の277億円を計上。同事業部門の売上高の伸び率は全事業部門でトップ、売上高に占める割合も47.7%になり、当社の高収益を支える基幹事業として高成長を持続しています。また、エレクトロニクス事業部門も前期比26.3%増の58億円の売上高を達成し、引き続き着実に成長を遂げています。

*当社は2006年4月1日付で普通株式1株に対し普通株式2株の割合で株式分割を行いました。それに合わせて、2005年9月期の1株当たり中間純利益および配当を調整しています。

3. 海外比率が前期比 3.0 ポイントアップの 16.5%に増加 - グローバルにおけるミスミ QCT モデルの拡大

- 海外生産拠点の設立や生産設備の拡充などの積極的な投資を行った結果、2006年9月期の海外売上高は95億円と43.7%の成長を実現、海外売上高比率は前期比3.0ポイント増の16.5%に急伸びました。
- 2006年10月より韓国に「韓国 QCT 配送センター」を稼動する一方、2007年中に同一敷地内において、「駿河精機韓国工場」の稼動準備を進めています。また、エレクトロニクス事業群においては2006年10月より韓国で、現地語版カタログを発行し、海外進出のスタートを切りました。さらにマレーシアのクアラルンプールに営業所を設け、台湾では在庫オペレーション（外部委託運営）を開始しています。

4. 中間配当は前期比 2 円 50 銭* の増配

- 当社は「グループ連結純利益の 20%以上」の年間配当方針を掲げる中、2006年9月期の1株当たりの中間配当金は前期比2円50銭*増の10円となりました。
- 安定的な配当の継続に努めた上で、内部留保金については財務体質の充実・強化を図りながら、長期安定的な経営基盤の確立に向けた商品力・サービスの向上と国内外の仕入・販売体制の整備などに活用していきます。

5. 通年業績予想は期初の予想通り

- 2007年3月期の業績は期初の予想通りの推移を見込んでいます。通期の売上高は前期比15.0%増の1,212億円、営業利益は前期比8.9%増の142億円、純利益は前期比7.4%増の81億円を計画しております（詳細は下記の表をご参照ください）。

2007年3月期の業績予想(連結)(2006年4月1日~2007年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	121,200	14,200	14,300	8,185	94.29

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2007年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社及び当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2006年9月期の当社中間連結業績の詳細は別添の決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
経営総務室 広報・IR 担当
Tel : 03-3647-7037 Fax : 03-3647-5802
電子メール : cc@misumi.co.jp